

### 5. 6. 3 日本女子大学理学部奨学金

本奨学金は、当初日本女子大学家政学部家政理学科の発展のために設けられたものであります（昭和40年5月制定）。理学部の改組が達成されたのに伴い、平成7年5月に改めて規程が改訂され、理学部のさらなる発展のために理学部学生の学術奨励賞として設けられました。本奨学金の基金は、日本女子大学に理学部を設置するため

に学生と教職員との協同において種々の催物を行なって得たものであり、理学部設立後の有志（館岡孝名誉教授、中村節子名誉教授、村岡全子名誉教授）の寄付を加えて新たに本奨学金の基金とされました。奨学金は、年1回2月初めの卒業発表会後に理学部に属する学生の中から学業・人物ともに優秀な学生に授与されています。

### 5. 6. 4 理学部における奨学金受賞者リスト（1995～2002）

#### 丹下記念奨学金

	数物科学科	物質生物科学科
1995年度	大 矢 百 合	真 下 ちひろ
1996年度	三 浦 賢 子	白 井 園 子
1997年度	星 野 恵美子	野 路 桂 子
1998年度	中 谷 理 子	水 間 章 子
1999年度	徳 本 陽 子	周 東 真理子
2000年度	川 上 直 子	吉 田 麻 子
2001年度	矢 野 紀 子	渡 辺 智恵子
2002年度	山野井 瞳	藤 本 阿沙美

#### 河上サワ記念奨学金

	物質生物科学科
1995年度	尾 形 典 子
1996年度	伊 藤 彩
1997年度	網 野 小百合
1998年度	池 田 有里子
1999年度	前 田 梨 恵
2000年度	小 林 玲 子
2001年度	松 村 裕美子
2002年度	丸 山 啓 子

#### 日本女子大学理学部奨学金

	数物科学科	物質生物科学科
1995年度		小 宮 友 恵
1996年度	酒 元 佳 子	
1997年度		森 美香子
1998年度	赤 木 智 子	
1999年度		橘 幸 子
2000年度	五 味 久 恵	
2001年度		野 口 清 香
2002年度	中 島 亜裕美	

## 付 設 立 時 と 現 在 の カ リ キ ュ ラ ム

理学部設立時の授業科目表を付表1に示す。数物科学科では科学的現象の根本である数理現象並びに物理現象を分析・総合・応用する能力を養うことを目的に、1年次で数学、物理両分野、および関連する情報分野にわたる基礎的な科目を修得させ、2年次以上ではそれぞれの分野の専門科目を修めることができるようにカリキュラムが組まれた。物質生物科学科は物質の本質および生物現象の総合的な把握と、解析・応用する能力の開発を目的に、化学と生物学の両分野の科目を整理して、カリキュラムの統合化を図り、まず両分野および物理学にわたる基礎的な科目を十分に修得させた上で、物質科学、環境科学、分子生物学、生物科学の4つの履修系統のいずれかを修められるようにした。また付表2に両学科にそれぞれ対応する大学院数理・物性構造科学専攻と、物質・

生物機能科学専攻の授業科目表を合わせて示す。なお数物科学科においては数学または理科の、物質生物科学科においては理科の、中学および高校教諭一種免許状が、大学院ではそれぞれの専修免許状が取得可能なカリキュラムになっている。

2002年度現在の授業科目表は付表3、付表4のようになっている。この間に大学設置基準の大綱化に対応する全学的なカリキュラムの改革があり、理学部においては一般教育科目の廃止にともなって、基礎的な理学部共通科目を新設して、両学科の学生が履修できるようにしている。また社会の要請に応じて情報関連の科目が整備され、特に数物科学科においては2001年度入学生より高校情報科教諭の免許取得も可能となっている。



付表 2. 大学院授業科目表 (1996年度)

	数理・物性構造科学専攻		物質・生物機能科学専攻
数理構造	代数構造論 幾何構造論 解析構造論 I (関数解析) 解析構造論 II (作用素環) 数理構造論 I (大域解析) 数理構造論 II (非線形構造)	物質機能	物質機能科学 I (量子物性科学) 物質機能科学 II (分子物性科学) 物質機能科学 III (有機合成化学特論) 物質機能科学 IV (分子機能化学) 物質機能科学 V (分子集合体論) 物質情報科学
数理・物理情報	OR・統計特論 I (線形システム) OR・統計特論 II (非線形システム) 数理情報科学 物理情報科学 I (光情報処理) 物理情報科学 II (情報処理要素) 物理情報科学 III (画像情報処理)	細胞分子機能	生体分子科学 I (生体物質化学) 生体分子科学 II (生体物性化学) 分子細胞科学 I (分子細胞機能論) 分子細胞科学 II (分子細胞構造論) 分子細胞科学 III (分子発生生物学)
構造物性	量子力学特論 熱・統計力学特論 構造物性科学 I (物性論特論 I) 構造物性科学 II (物性論特論 II) 構造物性科学 III (量子材料科学) 構造物性科学 IV (分子化学特論) 構造物性科学 V (高分子物性)	生理分子機能	分子生理科学 I (機能生理学) 分子生理科学 II (生体分子情報論) 生体制御科学 I (応用制御論) 生体制御科学 II (成長制御論)
	数理・物性構造科学特別講義 I 数理・物性構造科学特別講義 II 数理・物性構造科学総合演習 特別研究		物質・生物機能科学特別講義 I 物質・生物機能科学特別講義 II 物質・生物機能科学総合演習 特別研究



付表 4. 大学院授業科目表 (2002年度)

	数理・物性構造科学専攻		物質・生物機能科学専攻
数理構造	代数構造論 I (数論) 代数構造論 II (表現論) 幾何構造論 I (位相幾何学) 幾何構造論 II (微分幾何学) 幾何構造論 III (多様体論) 解析構造論 I (関数解析) 解析構造論 II (作用素環論) 数理構造論 I (大域解析) 数理構造論 II (調和解析) 数理構造論 III (非線形解析) 数理構造論 IV (非線形方程式) 数理構造論 V (位相多様体)	物質機能	物質機能科学 I (量子物性科学特論) 物質機能科学 II (分子物性科学特論) 物質機能科学 III (反応動力学特論) 物質機能科学 IV (有機物性化学特論) 物質機能科学 V (有機合成化学特論) 物質機能科学 VI (分子集合体特論) 物質情報科学 (分析・環境化学特論)
数理・物理情報	統計・OR 特論 I (線形システム) 統計・OR 特論 II (非線形システム) 統計・OR 特論 III (計算機統計学) 統計・OR 特論 IV (構造分析) 数理情報科学 I (計算数学 I) 数理情報科学 II (計算数学 II) 情報物理 I (光エレクトロニクス特論) 情報物理 II (画像データ処理) 情報物理 III (計算機特論ハードウェア) 情報物理 IV (計算機特論ソフトウェア) 情報物理 V (情報物理特論) 情報物理 VI (半導体 CAD) 情報物理 VII (情報データベース特論) 情報処理フロンティア	細胞分子機能	生体分子科学 (生体物性化学特論) 分子細胞科学 I (分子細胞機能特論) 分子細胞科学 II (分子細胞構造特論) 分子細胞科学 III (分子発生生物学特論) 分子細胞科学 IV (分子細胞操作特論)
構造物性	量子力学特論 I (対称性と不変量) 量子力学特論 II (場の量子化と輻射) 熱・統計力学特論 物理数学特論 量子エレクトロニクス特論 宇宙物理特論 構造物性科学 I (デバイス基礎論) 構造物性科学 II (固体物性特論) 構造物性科学 III (半導体物理) 構造物性科学 IV (量子材料科学) 構造物性科学 V (ソフトマテリアル物理特論) 構造物性科学 VI (高分子・材料物性) 物性物理フロンティア	生理分子機能	分子生理科学 I (機能生理学特論) 分子生理科学 II (生体分子情報特論) 生体制御科学 I (適応制御特論) 生体制御科学 II (成長制御特論) 生体制御科学 III (形態形成特論)
	数理・物性構造科学特別講義 I 数理・物性構造科学特別講義 II 数理・物性構造科学総合演習 特別研究 (前期課程) 数理・物性構造科学特別演習 特別研究 (後期課程)		物質・生物機能科学特別講義 I 物質・生物機能科学特別講義 II 物質・生物機能科学総合演習 特別研究 (前期課程) 物質・生物機能科学特別演習 特別研究 (後期課程)